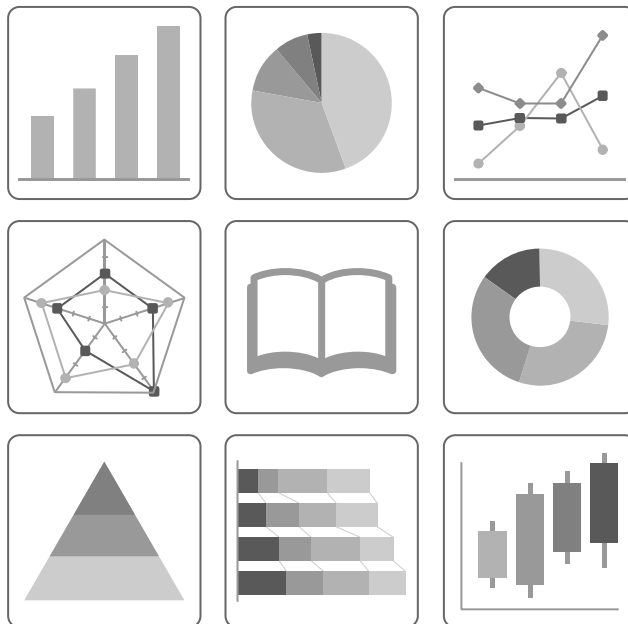


塩竈市
子どもの生活に関する実態調査
調査結果報告書
(概要版)



令和 3 年 3 月

塩 竈 市

目次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象、調査期間及び実施方法	1
3 調査票配布・回収件数	1
4 調査結果の表示方法	1
5 本調査における相対的貧困層の定義	2
II 調査結果	3
1 世帯の生活状況	3
【保護者】問7 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。	3
【保護者】問7-1 (離婚と答えた人のうち) 養育費の受け取りはありますか。	3
【保護者】問11 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。	4
【保護者】問13 あなたの世帯では、過去1年の間に、経済的な理由で、次のような経験をしたことがありますか。	5
【保護者】問16 お子さんは将来、どの段階まで進学すると思いますか。	6
【保護者】問18 お子さんの教育にかかる経費について、負担が大きいと感じているものはありますか。	7
2 子どもの生活状況について	8
【児童生徒】問5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。	8
【児童生徒】問5-1 いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。	9
【児童生徒】問6 あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。	10
【児童生徒】問6-1 その理由を教えてください。	11
【児童生徒】問8 あなたは朝ごはんをいつも食べていますか。	12
【児童生徒】問8-1 毎日朝ごはんを食べない最も大きな理由はなんですか。	13
【児童生徒】問14 あなたは、今まで虫歯ができたとき、歯医者に行きましたか。	14
【児童生徒】問18 あなたが日常生活の中で感じていることについて、教えてください。	15
3 相談先	16
【保護者】問22 お子さんや子育てについて、現在悩んでいることはありますか。	16
【保護者】問24 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。また、「1. 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。	17
【児童生徒】問22 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できる人はだれですか。	19
4 今後の支援	20
【保護者】問26 今後、子どものためにどのような支援が重要だと思いますか。	20
【児童生徒】問23 あなたは、次のa～dのような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。	21

I 調査の概要

1 調査の目的

塩竈市の子どもを取り巻く現状を把握すると共に、子どものための支援策に役立てるための策定の基礎資料として、調査を実施するものです。


2 調査対象、調査期間及び実施方法

調査対象者	〈全員対象〉市内小中学校の児童（小5、中2）及び保護者 市内小中学校教頭 市内公立保育所長 本市スクールソーシャルワーカー 〈無作為抽出〉0歳～18歳未満の児童を持つ保護者 〈当課にて抽出〉庁内関係課、市内関係団体
調査期間	令和2年11月25日～令和2年12月9日
調査方法	アンケート調査票を郵送及び学校を通じて配布・回収 庁内関係課は手渡しにて配布・回収

3 調査票配布・回収件数

調査対象者	配布数（人）	回収数（人）	回収率（％）
学校配布（親）	789人	649人	82.3%
学校配布（子）	789人	683人	86.6%
郵送配布（親のみ）	1,000人	555人	55.5%
小中学校、保育所、SSW	19人	17人	89.5%
関係機関及び庁内関係課	10人	9人	90.0%

4 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

5 本調査における相対的貧困層の定義

1. 相対的貧困世帯の定義

等価可処分所得（世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の中央値の半分を相対的貧困水準（“貧困線”）とする国民生活基礎調査の定義に基づき、世帯収入が“貧困線”以下の世帯を相対的貧困世帯と定義します。

2. 本調査分析における生活困窮世帯の定義

本調査においては、世帯年収についての質問（保護者問 12）の回答より“貧困線”を算出し（本調査では 132.5 万円）、“貧困線”以下の世帯年収の世帯を「貧困世帯」と定義しています。

※貧困線…生活に必要なものを購入できる最低限の年収を表す指標

（それ以下の収入では、一家の生活を支えることが困難であると考えられています。）

3. 貧困線の算出

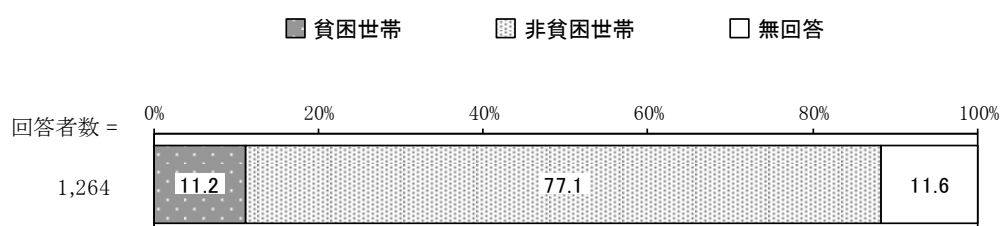
本調査においては世帯の所得額については、回答者の負担感等を考慮し、手取り収入を 50 万円の幅を持たせた選択肢で回答を求めました。そのため、国の貧困線の算出方法で用いる「等価可処分所得」の中央値には、選択肢の上限値と下限値の平均値を世帯人員の平方根で割って調整した値を当てはめています。

- ・（例）世帯所得が「500～550 万円」で世帯人員が 5 人の場合、世帯所得を 525 万円として算出します。

（当該世帯の“等価可処分所得”） = $(525 \text{ 万円}) \div (\sqrt{5}) \div (234.8 \text{ 万円})$

4. 塩竈市の貧困世帯の割合

「貧困世帯」の割合が 11.2%、「非貧困世帯」の割合が 77.1%となっています。



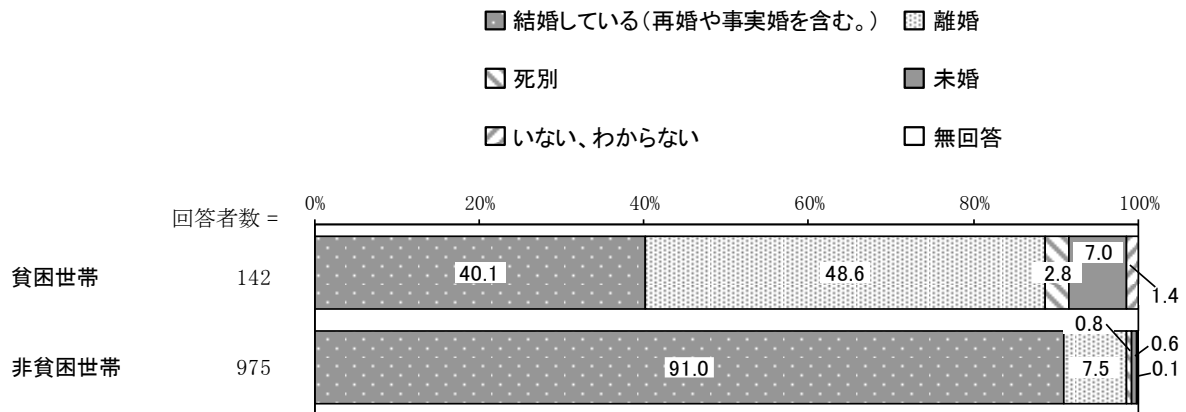
II 調査結果

1 世帯の生活状況

【保護者】問7 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

【貧困線別】

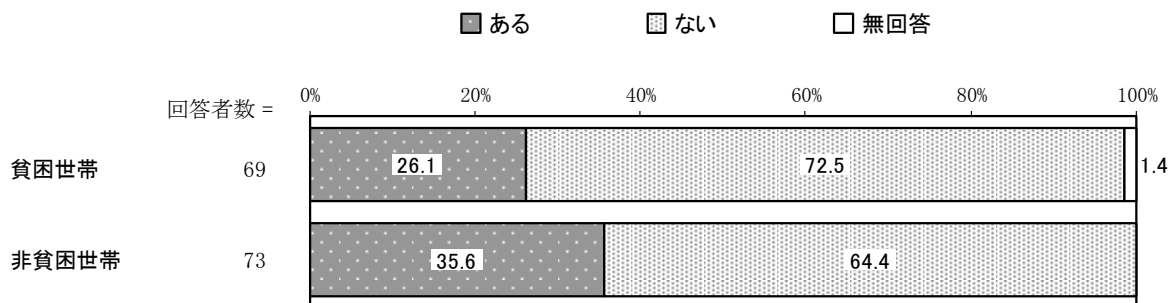
非貧困世帯に比べ、貧困世帯で「離婚」「未婚」の割合が高くなっています。一方、貧困世帯に比べ、非貧困世帯で「結婚している(再婚や事実婚を含む。)」の割合が高くなっています。



【保護者】問7-1 (離婚と答えた人のうち) 養育費の受け取りはありますか。(あてはまるもの1つに○)

【貧困線別】

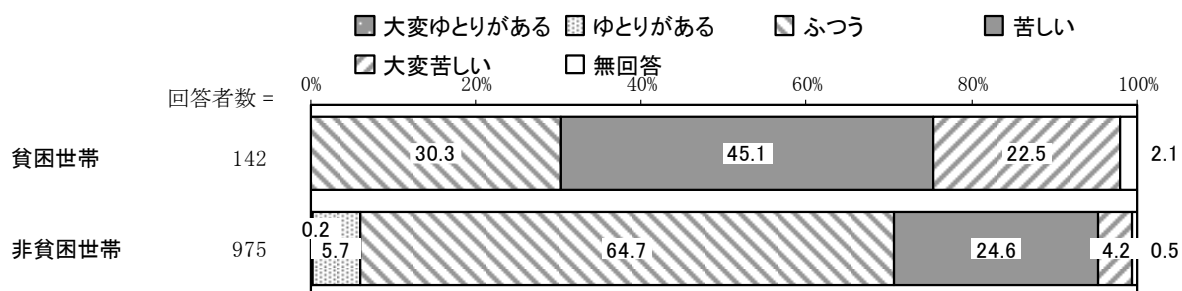
非貧困世帯に比べ、貧困世帯で「ない」の割合が高くなっています。一方、貧困世帯に比べ、非貧困世帯で「ある」の割合が高くなっています。



【保護者】問11 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

【貧困線別】

非貧困世帯に比べ、貧困世帯で「苦しい」「大変苦しい」の割合が高くなっています。一方、貧困世帯に比べ、非貧困世帯で「ゆとりがある」「ふつう」の割合が高くなっています。



【保護者】問 13 あなたの世帯では、過去1年の間に、経済的な理由で、次のような経験をしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

【貧困線別】

非貧困世帯に比べ、貧困世帯で「税金や国民年金保険料の支払いが滞った」「食費を切りつめた」「新しい衣服や靴を買うのを控えた」「医療機関の受診を控えた」の割合が高くなっています。一方、貧困世帯に比べ、非貧困世帯で「どれにもあてはまらない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	電気・ガス・水道が止められた	クレジットカードが利用停止になった	税金や国民年金保険料の支払いが滞った	保育料や授業料の支払いが滞った	家賃や住宅ローンの支払いが滞った	食費を切りつめた	新しい衣服や靴を買うのを控えた	医療機関の受診を控えた	どれにもあてはまらない	無回答
貧困世帯	142	9.2	9.9	26.8	5.6	10.6	57.0	64.8	33.1	19.0	2.1
非貧困世帯	975	1.2	2.3	8.6	4.6	2.7	32.4	34.7	10.9	49.6	4.3

【子どもの学年別】

中学生に比べ、小学生で「どれにもあてはまらない」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「食費を切りつめた」の割合が高くなっています。

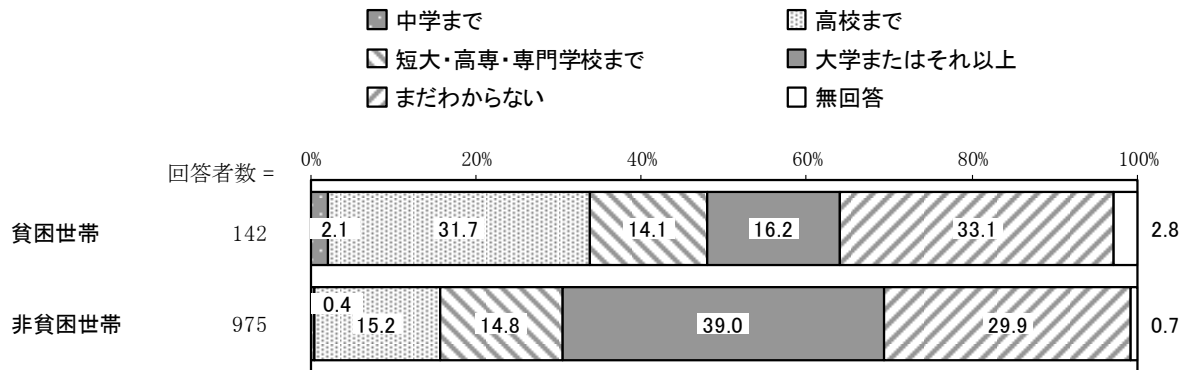
単位：%

区分	有効回答数(件)	電気・ガス・水道が止められた	クレジットカードが利用停止になった	税金や国民年金保険料の支払いが滞った	保育料や授業料の支払いが滞った	家賃や住宅ローンの支払いが滞った	食費を切りつめた	新しい衣服や靴を買うのを控えた	医療機関の受診を控えた	どれにもあてはまらない	無回答
小学生	318	3.1	1.6	11.0	6.0	3.1	28.6	34.0	13.5	50.3	5.7
中学生	297	2.7	4.7	12.8	6.4	2.4	39.4	36.4	15.8	44.8	5.4

【保護者】問 16 お子さんは将来、どの段階まで進学すると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

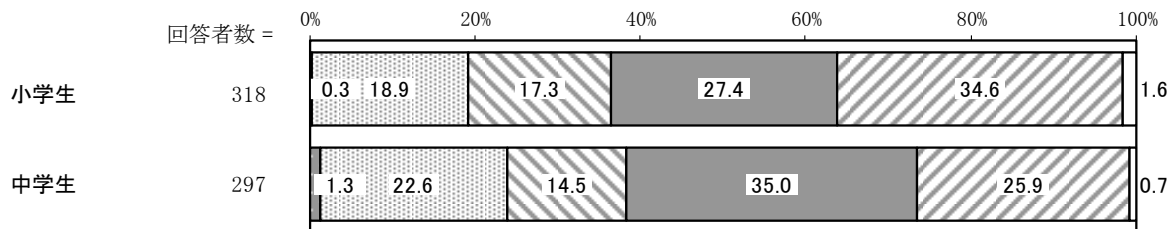
【貧困線別】

非貧困世帯に比べ、貧困世帯で「高校まで」の割合が高くなっています。一方、貧困世帯に比べ、非貧困世帯で「大学またはそれ以上」の割合が高くなっています。



【子どもの学年別】

中学生に比べ、小学生で「まだわからない」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「大学またはそれ以上」の割合が高くなっています。



【保護者】問 18 お子さんの教育にかかる経費について、負担が大きいと感じているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

【貧困線別】

非貧困世帯に比べ、貧困世帯で「保育料・授業料」「学用品費（制服、靴、ノートなど身の回りのもの）」「学習費・教材費」「給食費」「修学旅行費などの積立金」の割合が高くなっています。一方、貧困世帯に比べ、非貧困世帯で「学校外の教育費（塾代、家庭教師や通信教育にかかる費用）」「負担が大きいと感じているものはない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	保育料・授業料	学用品費(制服、靴、ノートなど身の回りのもの)	学習費・教材費	給食費	修学旅行費などの積立金	地域のクラブ活動費	学校外の教育費(塾代、家庭教師や通信教育にかかる費用)	その他	負担が大きいと感じているものはない	無回答
貧困世帯	142	26.1	50.7	34.5	19.7	45.1	6.3	32.4	9.2	18.3	2.1
非貧困世帯	975	15.8	26.1	14.7	9.3	18.3	2.6	40.1	4.7	28.6	2.5

【子どもの学年別】

中学生に比べ、小学生で「負担が大きいと感じているものはない」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「学用品費（制服、靴、ノートなど身の回りのもの）」「修学旅行費などの積立金」「学校外の教育費（塾代、家庭教師や通信教育にかかる費用）」の割合が高くなっています。

単位：％

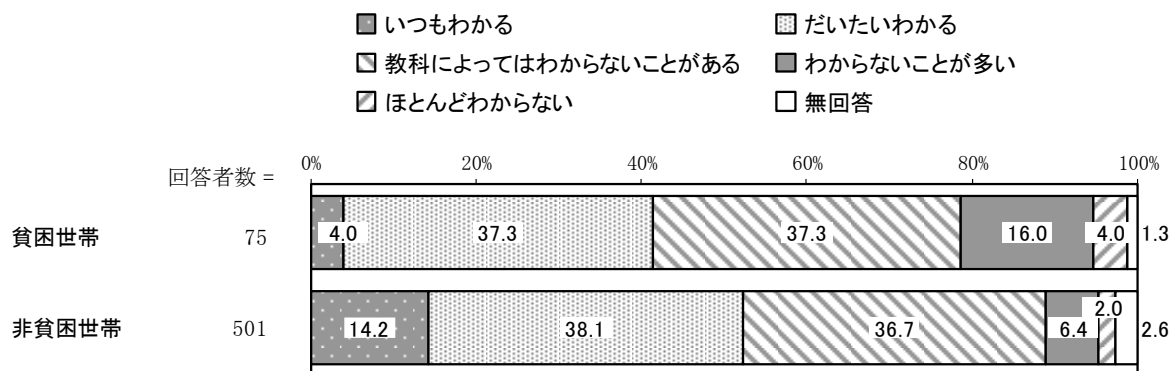
区分	有効回答数 (件)	保育料・授業料	学用品費(制服、靴、ノートなど身の回りのもの)	学習費・教材費	給食費	修学旅行費などの積立金	地域のクラブ活動費	学校外の教育費(塾代、家庭教師や通信教育にかかる費用)	その他	負担が大きいと感じているものはない	無回答
小学生	318	11.6	28.3	15.4	12.9	20.8	3.8	32.7	5.7	32.7	2.5
中学生	297	10.4	34.0	18.5	11.8	34.0	2.0	50.2	4.0	18.5	2.4

2 子どもの生活状況について

【児童生徒】問5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

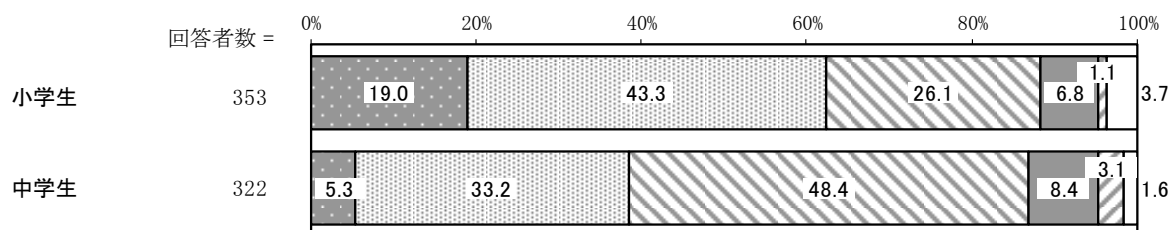
【貧困線別】

非貧困世帯に比べ、貧困世帯で「わからないことが多い」の割合が高くなっています。一方、貧困世帯に比べ、非貧困世帯で「いつもわかる」の割合が高くなっています。



【子どもの学年別】

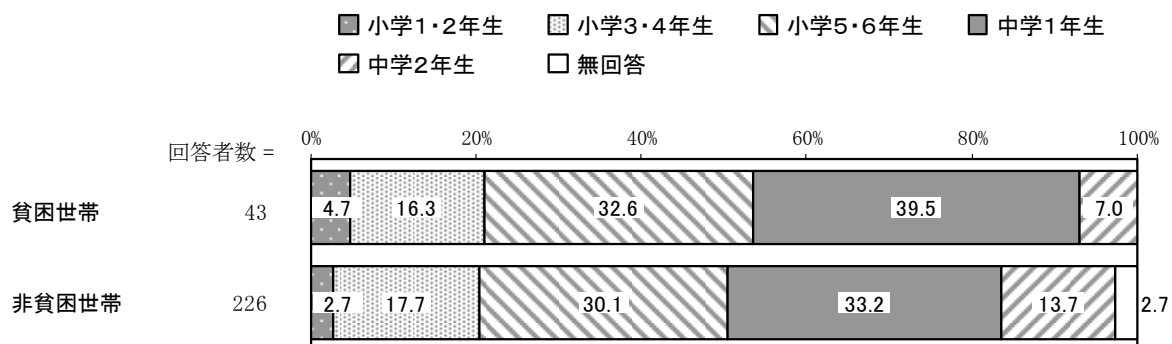
中学生に比べ、小学生で「いつもわかる」「だいたいわかる」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「教科によってはわからないことがある」の割合が高くなっています。



【児童生徒】問5-1 izzごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。

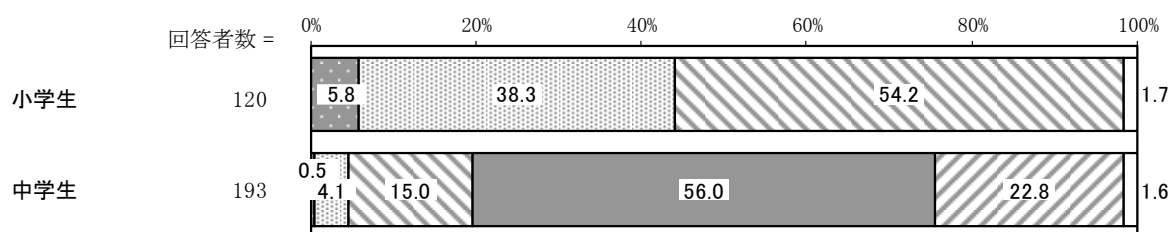
【貧困線別】

非貧困世帯に比べ、貧困世帯で「中学1年生」の割合が高くなっています。一方、貧困世帯に比べ、非貧困世帯で「中学2年生」の割合が高くなっています。



【子どもの学年別】

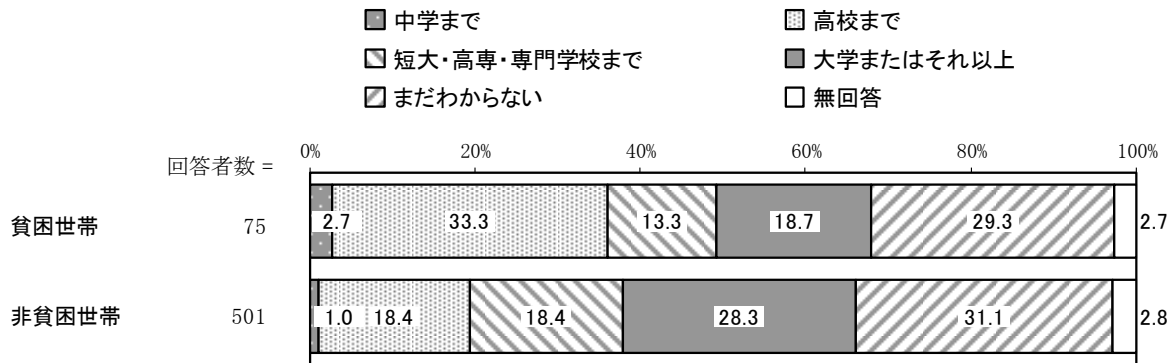
小学生で「小学5・6年生」の割合が高くなっています。中学生で「中学1年生」「中学2年生」の割合が高くなっています。



【児童生徒】問6 あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

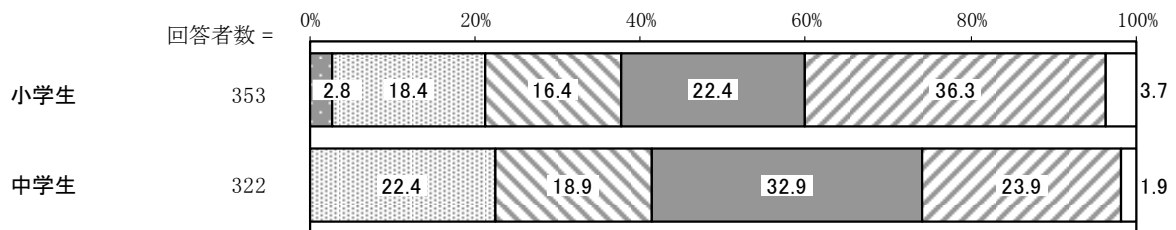
【貧困線別】

非貧困世帯に比べ、貧困世帯で「高校まで」の割合が高くなっています。一方、貧困世帯に比べ、非貧困世帯で「短大・高専・専門学校まで」「大学またはそれ以上」の割合が高くなっています。



【子どもの学年別】

中学生に比べ、小学生で「まだわからない」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「大学またはそれ以上」の割合が高くなっています。



【児童生徒】問6-1 その理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

【貧困線別】

貧困線別で見ると、非貧困世帯に比べ、貧困世帯で「家族の生活費を稼ぐため」「早く働きたいから」の割合が高くなっています。一方、貧困世帯に比べ、非貧困世帯で「希望する学校や職業があるから」「親がそう言っているから」「兄・姉がそうしているから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	希望する学校や職業があるから	自分の成績から考 えて	親がそう言ってい るから	兄・姉がそうしてい るから	まわりの先輩や友 達がそうしている から	家族の生活費を稼 ぐため	早く働きたいから	その他	とくに理由はない	無回答
貧困世帯	51	47.1	9.8	3.9	3.9	2.0	9.8	17.6	—	19.6	9.8
非貧困世帯	331	52.9	11.2	13.3	10.3	2.7	4.8	8.8	6.0	17.8	2.4

【子どもの学年別】

子どもの学年別で見ると、小学生に比べ、中学生で「親がそう言っているから」の割合が高くなっています。

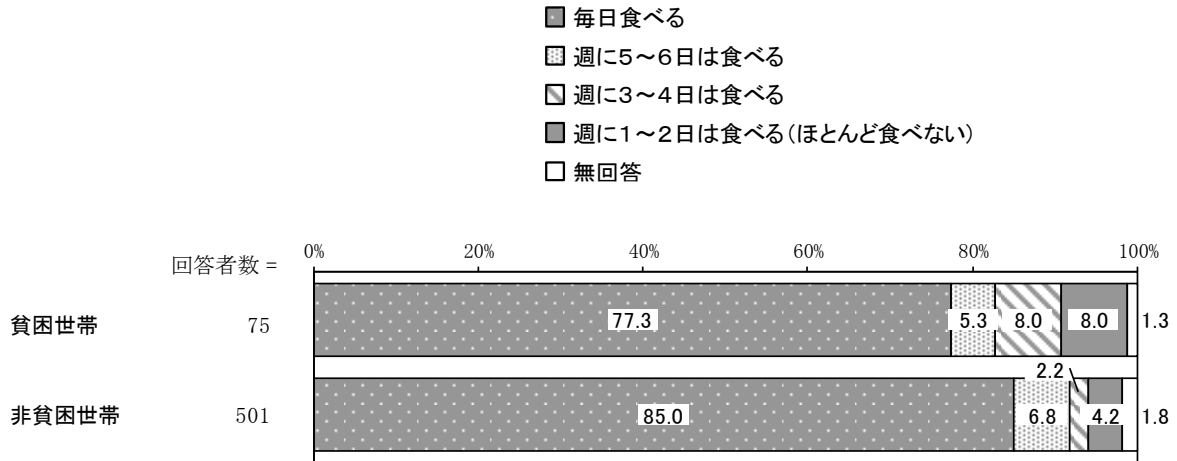
単位：%

区分	有効回答数(件)	希望する学校や職業があるから	自分の成績から考 えて	親がそう言ってい るから	兄・姉がそうしてい るから	まわりの先輩や友 達がそうしている から	家族の生活費を稼 ぐため	早く働きたいから	その他	とくに理由はない	無回答
小学生	212	51.9	11.3	8.5	7.5	0.9	6.1	11.8	3.8	16.5	3.3
中学生	239	52.7	11.3	16.7	8.8	4.6	5.9	8.8	7.1	19.7	2.5

【児童生徒】問8 あなたは朝ごはんをいつも食べていますか。(あてはまるもの1つに○)

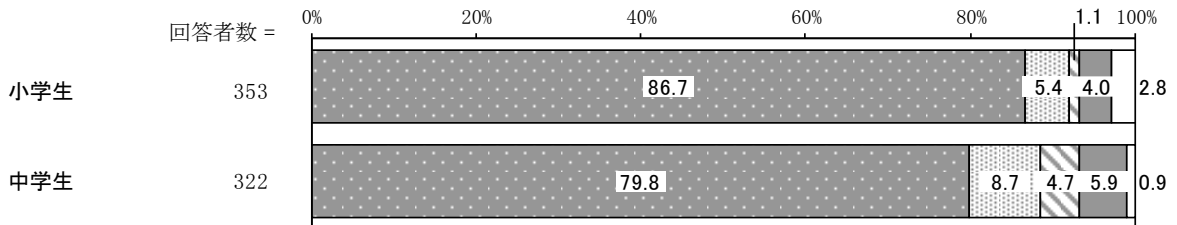
【貧困線別】

非貧困世帯に比べ、貧困世帯で「週に3～4日は食べる」の割合が高くなっています。一方、貧困世帯に比べ、非貧困世帯で「毎日食べる」の割合が高くなっています。



【子どもの学年別】

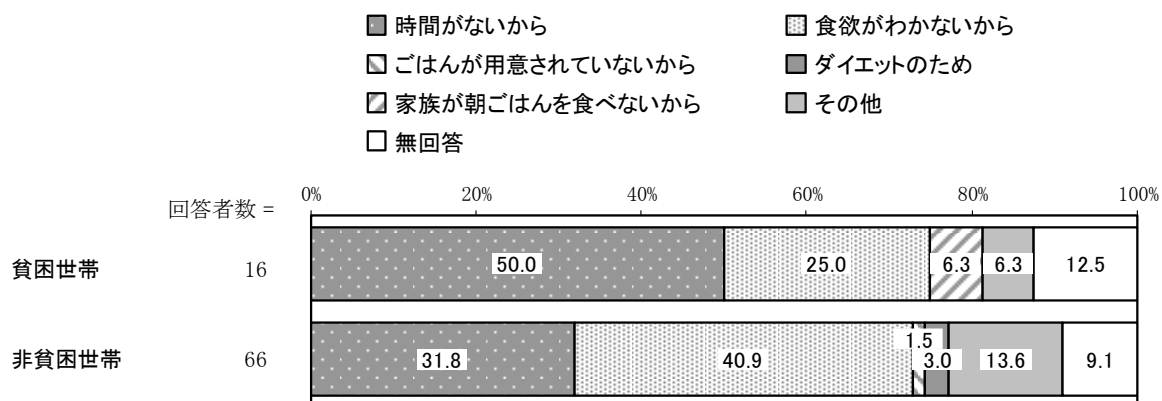
小学生で「毎日食べる」の割合が高くなっています。



【児童生徒】問8-1 毎日朝ごはんを食べない最も大きな理由はなんですか。

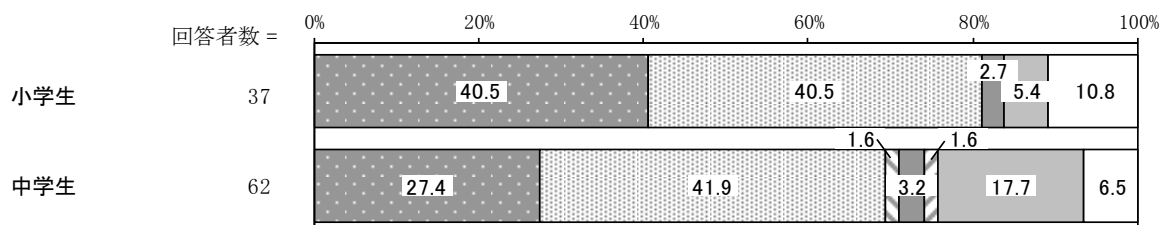
【貧困線別】

非貧困世帯に比べ、貧困世帯で「時間がないから」「家族が朝ごはんを食べないから」の割合が高くなっています。一方、貧困世帯に比べ、非貧困世帯で「食欲がわかないから」の割合が高くなっています。



【子どもの学年別】

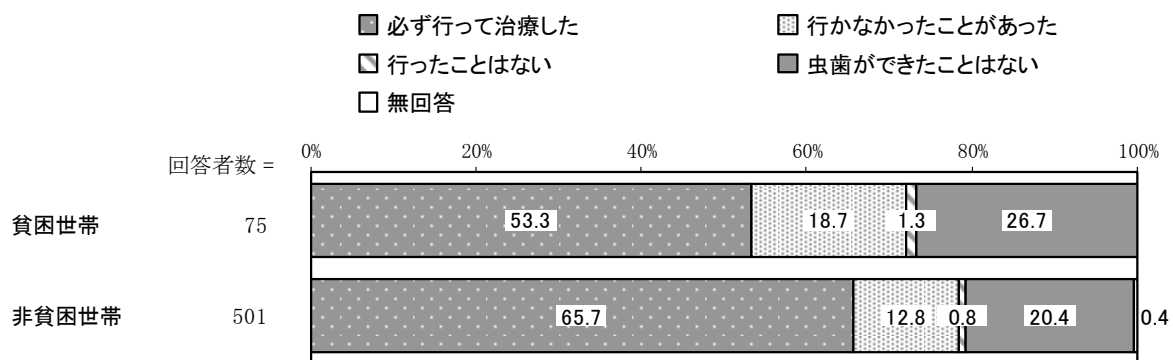
中学生に比べ、小学生で「時間がないから」の割合が高くなっています。



【児童生徒】問 14 あなたは、今まで虫歯ができたとき、歯医者に行きましたか。(あてはまるもの1つに○)

【貧困線別】

非貧困世帯に比べ、貧困世帯で「行かなかったことがあった」「虫歯ができたことはない」の割合が高くなっています。一方、貧困世帯に比べ、非貧困世帯で「必ず行って治療した」の割合が高くなっています。

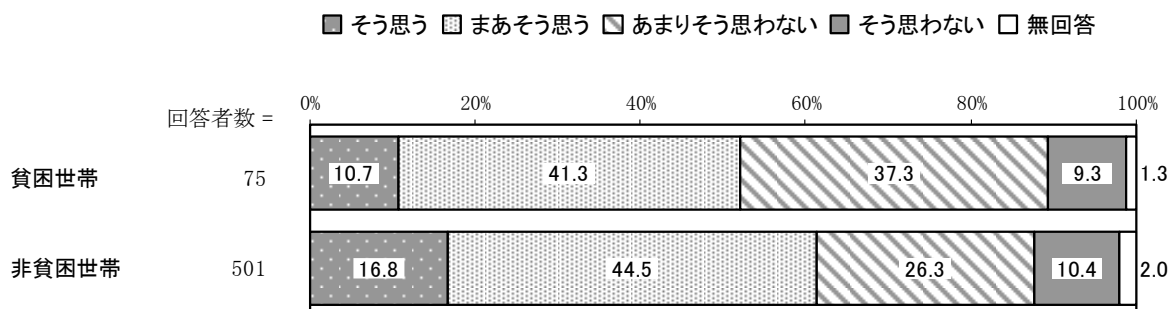


【児童生徒】問 18 あなたが日常生活の中で感じていることについて、教えてください。(あてはまるもの1つに○)

c) 自分は価値のある人間だと思う

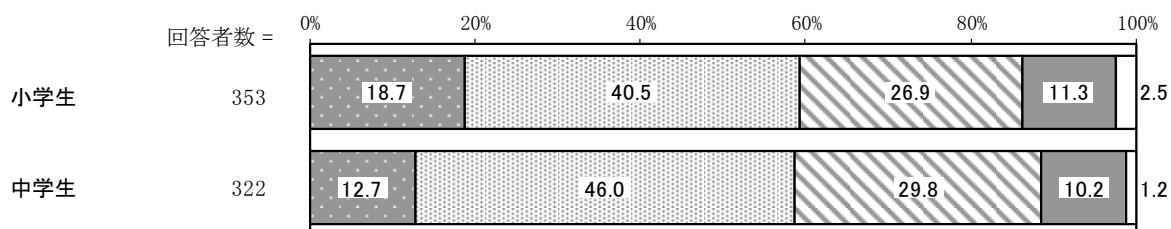
【貧困線別】

非貧困世帯に比べ、貧困世帯で「あまりそう思わない」の割合が高くなっています。一方、貧困世帯に比べ、非貧困世帯で「そう思う」の割合が高くなっています。



【子どもの学年別】

中学生に比べ、小学生で「そう思う」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「まあそう思う」の割合が高くなっています。



3 相談先

【保護者】問 22 お子さんや子育てについて、現在悩んでいることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

【貧困線別】

非貧困世帯に比べ、貧困世帯で「子どもに対するしつけや教育に自信が持てない」「自分の時間が持てない」「子育てのストレスをうまく解消できない」「子どもの教育費が心配である」の割合が高くなっています。一方、貧困世帯に比べ、非貧困世帯で「特に悩みはない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	子どもに対するしつけや教育に自信が持てない	子育てについて相談できる人がいない	仕事と子育ての両立が難しい	自分の時間が持てない	子育てのストレスをうまく解消できない	子育てを手伝ってくれる人が身近にいない	子どもが勉強をしない	子どもの教育費が心配である	子どもが学校に行くことを嫌がる	子どもの教育費が心配である	子どもに十分な食事を与えることができない	その他	特に悩みはない	無回答
貧困世帯	142	33.1	5.6	25.4	33.1	17.6	11.3	25.4	19.0	14.1	50.0	2.8	5.6	14.1	2.8
非貧困世帯	975	24.6	4.0	16.7	23.1	9.2	5.6	19.1	14.3	4.8	28.9	0.8	5.7	27.1	3.2

【子どもの学年別】

子どもの学年別で見ると、中学生に比べ、小学生で「特に悩みはない」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「子どもが勉強をしない」「子どもの教育費が心配である」の割合が高くなっています。

単位：％

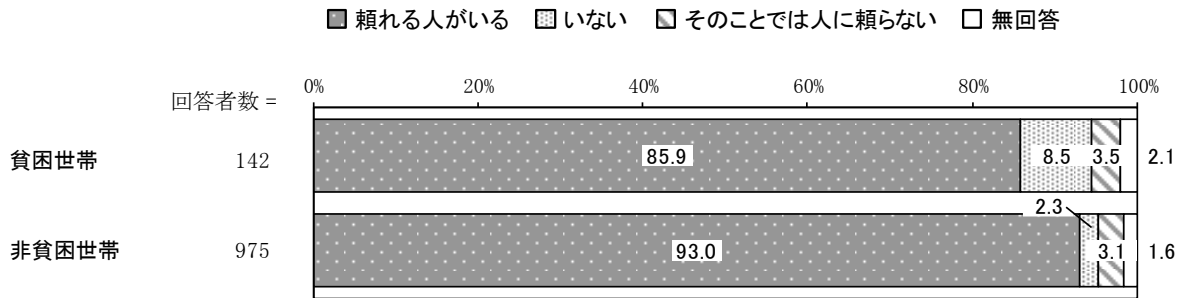
区分	有効回答数（件）	子どもに対するしつけや教育に自信が持てない	子育てについて相談できる人がいない	仕事と子育ての両立が難しい	自分の時間が持てない	子育てのストレスをうまく解消できない	子育てを手伝ってくれる人が身近にいない	子どもが勉強をしない	子どもの教育費が心配である	子どもが学校に行くことを嫌がる	子どもの教育費が心配である	子どもに十分な食事を与えることができない	その他	特に悩みはない	無回答
小学生	318	24.8	5.7	17.6	23.3	12.3	7.9	20.4	12.6	8.2	26.7	1.3	5.7	28.6	4.7
中学生	297	21.5	4.4	15.5	21.9	8.1	6.4	32.0	14.1	6.4	36.0	1.3	6.1	22.2	3.4

【保護者】問 24 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
 (a、bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)
 また、「1. 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。
 (あてはまるものすべてに○)

a) 子育てに関する相談

【貧困線別】

貧困線別でみると、非貧困世帯に比べ、貧困世帯で「いない」の割合が高くなっています。一方、貧困世帯に比べ、非貧困世帯で「頼れる人がいる」の割合が高くなっています。



頼れる人がいる

【貧困線別】

非貧困世帯に比べ、貧困世帯で「保育施設などの先生や学校の先生」の割合が高くなっています。一方、貧困世帯に比べ、非貧困世帯で「家族・親族」の割合が高くなっています。

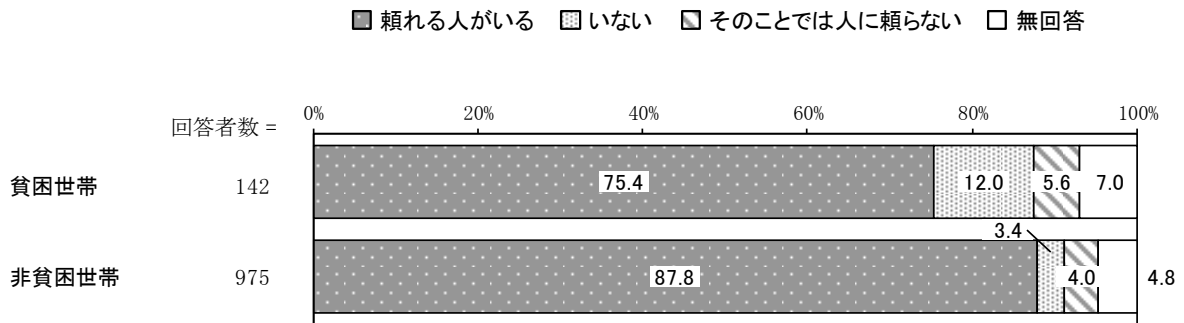
単位: %

区分	有効回答数 (件)	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	保育施設などの先生や学校の先生	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答
貧困世帯	122	80.3	69.7	11.5	35.2	32.8	0.8	5.7	4.1	1.6
非貧困世帯	907	92.3	71.8	12.1	36.1	27.3	0.4	4.2	1.7	1.3

b) 子育て以外の事柄の相談

【貧困線別】

非貧困世帯に比べ、貧困世帯で「いない」の割合が高くなっています。一方、貧困世帯に比べ、非貧困世帯で「頼れる人がいる」の割合が高くなっています。



頼れる人がいる

【貧困線別】

貧困世帯に比べ、非貧困世帯で「家族・親族」「職場の人」の割合が高くなっています。

単位: %

区分	有効回答数 (件)	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	生や学校の先生 保育施設などの先	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答
貧困世帯	107	77.6	75.7	11.2	28.0	7.5	0.9	2.8	2.8	1.9
非貧困世帯	856	90.1	74.1	8.6	38.6	5.1	0.2	0.8	2.0	1.3

【児童生徒】問 22 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できる人はだれですか。(あてはまるものすべてに○)

【貧困線別】

貧困世帯、非貧困世帯ともに、「親」「学校の友達」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	親	きょうだい	祖父母・親戚	学校の先生	学校の友達	学校外の友達	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー	その他の大人	インターネットで知り合った人	だれにも相談できない、相談したくない	無回答
貧困世帯	75	66.7	26.7	29.3	25.3	66.7	9.3	5.3	2.7	6.7	6.7	2.7
非貧困世帯	501	71.1	23.8	22.2	31.3	68.9	22.8	4.4	5.8	6.2	4.6	2.6

【子どもの学年別】

子どもの学年別で見ると、中学生に比べ、小学生で「親」「祖父母・親戚」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	親	きょうだい	祖父母・親戚	学校の先生	学校の友達	学校外の友達	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー	その他の大人	インターネットで知り合った人	だれにも相談できない、相談したくない	無回答
小学生	353	75.9	25.8	27.2	32.0	70.5	20.7	6.8	5.7	4.8	3.4	2.0
中学生	322	64.9	23.6	18.0	28.9	67.1	20.8	2.8	4.0	9.3	6.2	2.5

4 今後の支援

【保護者】問 26 今後、子どものためにどのような支援が重要だと思いますか。(1～9までについては、あてはまるもの5つまでに○)

【貧困線別】

非貧困世帯に比べ、貧困世帯で「子ども食堂のような、無料もしくは安価で食事ができるところ」「生活や就学のための経済的な補助」の割合が高くなっています。一方、貧困世帯に比べ、非貧困世帯で「保護者がいないときに子どもを預けることができる場所やサービス」「放課後等に宿題や自主学習ができる場所の提供」「進路や生活のことなどについてなんでも相談できるところ」「自然遊びや体験学習の機会」「職場体験や面接練習など、就職に備えた支援」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	保護者がいないときに子どもを預けることができる場所やサービス	放課後等に宿題や自主学習ができる場所の提供	学校以外で勉強を教えてくれるところ	進路や生活のことなどについてなんでも相談できるところ	子ども食堂のような、無料もしくは安価で食事ができるところ	自然遊びや体験学習の機会	職場体験や面接練習など、就職に備えた支援	生活や就学のための経済的な補助	その他	特になし	無回答
貧困世帯	142	33.8	27.5	38.7	22.5	23.2	25.4	24.6	57.7	4.2	7.7	2.8
非貧困世帯	975	39.5	37.4	38.8	28.2	16.2	44.3	33.5	34.7	4.1	7.8	1.6

【子どもの学年別】

中学生に比べ、小学生で「保護者がいないときに子どもを預けることができる場所やサービス」「放課後等に宿題や自主学習ができる場所の提供」「自然遊びや体験学習の機会」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「進路や生活のことなどについてなんでも相談できるところ」「職場体験や面接練習など、就職に備えた支援」「生活や就学のための経済的な補助」の割合が高くなっています。

単位：％

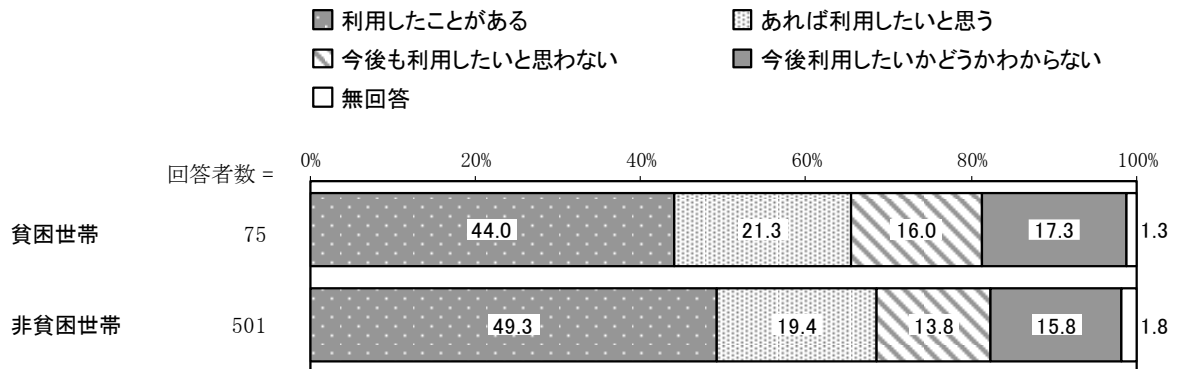
区分	有効回答数(件)	保護者がいないときに子どもを預けることができる場所やサービス	放課後等に宿題や自主学習ができる場所の提供	学校以外で勉強を教えてくれるところ	進路や生活のことなどについてなんでも相談できるところ	子ども食堂のような、無料もしくは安価で食事ができるところ	自然遊びや体験学習の機会	職場体験や面接練習など、就職に備えた支援	生活や就学のための経済的な補助	その他	特になし	無回答
小学生	318	38.7	37.4	44.7	26.4	16.4	46.2	29.2	32.4	5.3	7.5	1.9
中学生	297	24.9	29.3	44.8	33.0	14.5	29.0	40.4	42.8	1.3	8.4	3.0

【児童生徒】問 23 あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。（a～d それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○）

a) (自分や友人の家以外で) 平日の放課後や休日を過ごすことができる場所 (児童館、図書館など)

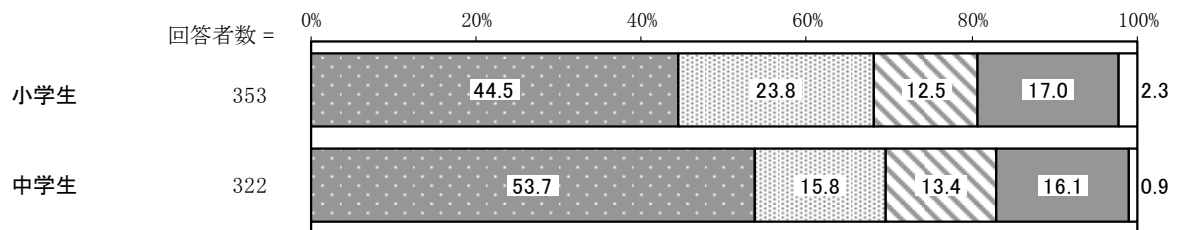
【貧困線別】

貧困線別でみると、貧困世帯に比べ、非貧困世帯で「利用したことがある」の割合が高くなっています。



【子どもの学年別】

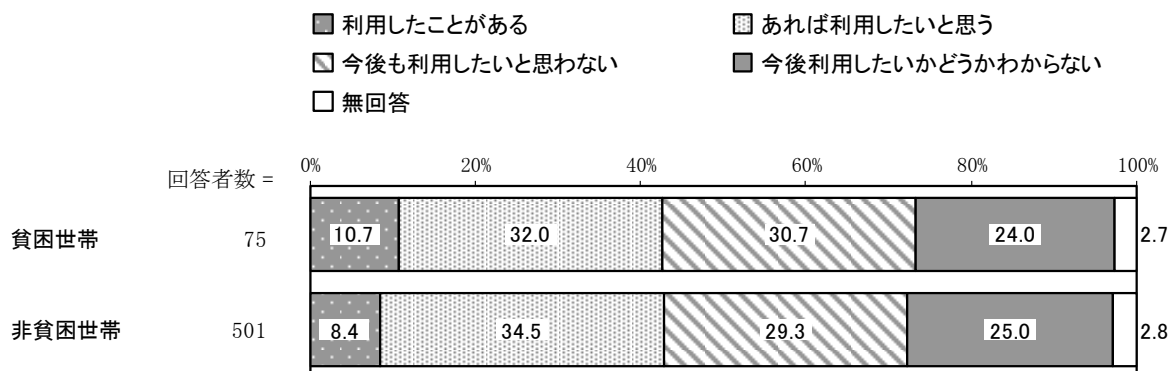
子どもの学年別でみると、中学生に比べ、小学生で「あれば利用したいと思う」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「利用したことがある」の割合が高くなっています。



b) (自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など)

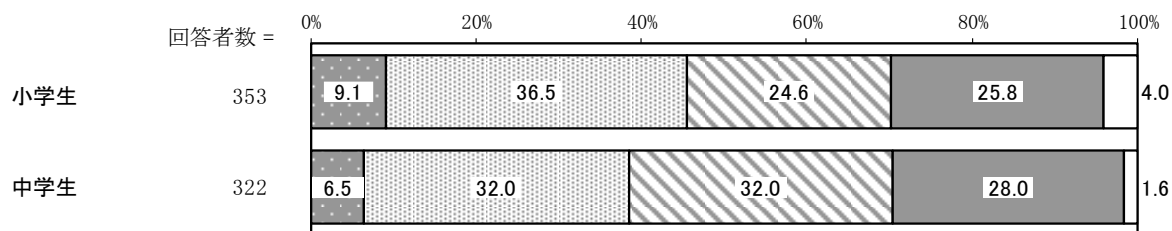
【貧困線別】

大きな差異はみられません。



【子どもの学年別】

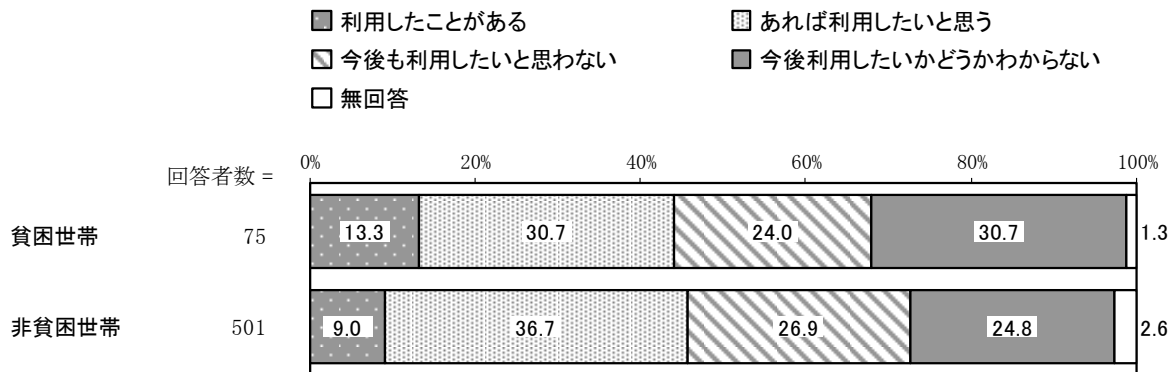
中学生に比べ、小学生で「あれば利用したい」の割合が高くなっています。



c) (学校以外で) 勉強を無料でみてる場所

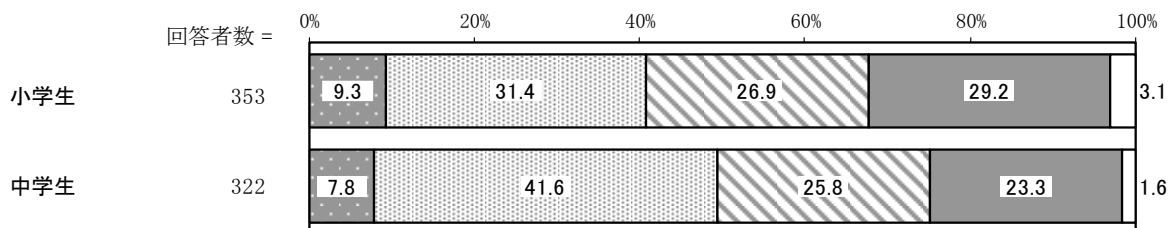
【貧困線別】

非貧困世帯に比べ、貧困世帯で「今後利用したいかどうか分からない」の割合が高くなっています。一方、貧困世帯に比べ、非貧困世帯で「あれば利用したいと思う」の割合が高くなっています。



【子どもの学年別】

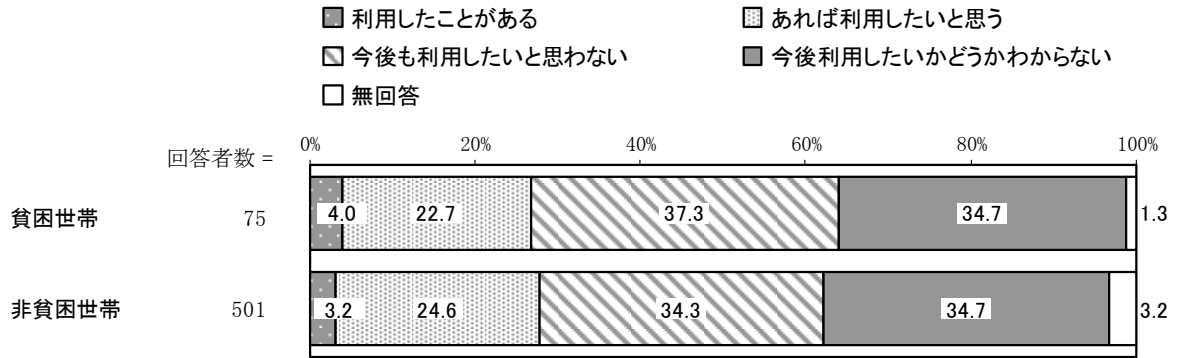
中学生に比べ、小学生で「今後利用したいかどうか分からない」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「あれば利用したいと思う」の割合が高くなっています。



d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やインターネットの相談を含む。)

【貧困線別】

大きな差異はみられません。



【子どもの学年別】

小学生に比べ、中学生で「今後も利用したいと思わない」の割合が高くなっています。

